



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月8日

上場会社名 エステールホールディングス株式会社
コード番号 7872 URL <https://www.estelle.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 横内 達治

TEL 03-5777-5120

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,560	2.2	284		205		125	
2022年3月期第1四半期	6,418	51.1	335		256		158	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 19百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 109百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	11.79	
2022年3月期第1四半期	14.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	35,479	13,687	38.1	1,270.33
2022年3月期	34,576	13,990	40.0	1,299.88

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 13,500百万円 2022年3月期 13,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		27.00	27.00
2023年3月期(予想)		0.00		27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	5.1	1,200	112.0	1,200	53.5	430	483.4	40.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	11,459,223 株	2022年3月期	11,459,223 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	831,503 株	2022年3月期	831,503 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	10,627,720 株	2022年3月期1Q	10,627,820 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和されるのに伴い、社会経済活動は緩やかに再開される中、個人消費はやや持ち直しの兆しが見られてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの再拡大懸念に加え、世界的な資源価格の高騰、為替の大きな変動による物価の高騰により、消費マインドへの予断を許さない状況にあることから、今後とも厳しい経営環境が続くものと思われま

す。
このような環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底し、通信販売のさらなる拡充や、顧客の購買回復に向けた販売促進を積極的に展開するとともに、お客様及び従業員の安心・安全を最優先に引き続き店内の感染防止拡大防止策に取り組み営業活動を継続してまいります。また、社内業務の効率化、平準化に取り組みとともに多様化するお客様のニーズに対して、きめ細やかな対応をするため、品質・価格・品ぞろえにこだわった店舗政策に取り組み顧客満足度向上に努めております。当社グループの当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高が、65億60百万円(前年同期比2.2%増)となりました。営業損益は、2億84百万円の損失(前年同期は3億35百万円の損失)となり、経常損益は、海外子会社における為替差益などにより2億5百万円の損失(前年同期は2億56百万円の損失)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、1億25百万円の損失(前年同期は1億58百万円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

① 宝飾品

外部顧客への売上高は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和されたものの、宝飾セグメントに対する影響は限定的な範囲にとどまり、54億19百万円(前年同期比0.7%増)となり、セグメント損益は2億44百万円の損失(前年同期は2億84百万円の損失)となりました。

② 眼鏡

外部顧客への売上高は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和及び新規出店などにより、6億48百万円(前年同期比16.0%増)となり、セグメント損益は15百万円の利益(前年同期は2百万円の損失)となりました。

③ 食品販売・飲食店

外部顧客への売上高は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和及び新規出店などにより、4億93百万円(前年同期比3.1%増)となりました。セグメント損益は56百万円の損失(前年同期は49百万円の損失)となりました。

当四半期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

セグメント	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店
会社名	As-meエステール(株)	キンバレー(株)	エステールホールディングス(株)
前期末店舗数	366	68	31
新規出店	3	1	1
閉店	△3	—	—
当四半期末店舗数	366	69	32

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末の345億76百万円より9億3百万円増加し、354億79百万円となりました。主な増減は、商品及び製品などの棚卸資産の増加8億86百万円、現金及び預金の増加2億7百万円及び投資その他の資産の増加99百万円と、受取手形及び売掛金の減少4億25百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末の205億85百万円より12億5百万円増加し、217億91百万円となりました。主な増減は、長期借入金の増加6億46百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加2億2百万円及びその他の流動負債の増加7億6百万円と、賞与引当金の減少2億13百万円及び未払法人税等の減少1億29百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末の139億90百万円より3億2百万円減少し、136億87百万円となりました。主な増減は、剰余金の配当2億86百万円と親会社株主に帰属する四半期純損失1億25百万円などによる利益剰余金の減少4億18百万円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,617	8,824
受取手形及び売掛金	2,207	1,781
商品及び製品	11,098	11,740
仕掛品	1,439	1,661
原材料及び貯蔵品	3,300	3,322
その他	337	432
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	26,999	27,763
固定資産		
有形固定資産	1,829	1,866
無形固定資産	167	169
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,523	2,484
その他	3,058	3,196
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	5,579	5,679
固定資産合計	7,576	7,715
資産合計	34,576	35,479
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,451	4,456
1年内返済予定の長期借入金	3,983	4,186
未払法人税等	173	43
賞与引当金	424	211
その他	2,266	2,972
流動負債合計	11,298	11,870
固定負債		
長期借入金	6,917	7,563
役員退職慰労引当金	694	697
退職給付に係る負債	1,595	1,576
資産除去債務	74	80
その他	4	4
固定負債合計	9,286	9,921
負債合計	20,585	21,791

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	9,376	8,957
自己株式	△570	△570
株主資本合計	13,762	13,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102	140
為替換算調整勘定	7	66
退職給付に係る調整累計額	△58	△49
その他の包括利益累計額合計	52	157
非支配株主持分	175	186
純資産合計	13,990	13,687
負債純資産合計	34,576	35,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	6,418	6,560
売上原価	2,636	2,686
売上総利益	3,781	3,874
販売費及び一般管理費	4,117	4,159
営業損失(△)	△335	△284
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
受取手数料	5	5
為替差益	79	77
その他	1	2
営業外収益合計	89	89
営業外費用		
支払利息	9	9
その他	2	0
営業外費用合計	11	9
経常損失(△)	△256	△205
特別利益		
助成金収入	92	5
特別利益合計	92	5
特別損失		
減損損失	2	8
店舗閉鎖損失	4	-
臨時休業による損失	76	-
特別損失合計	82	8
税金等調整前四半期純損失(△)	△246	△208
法人税等	△91	△83
四半期純損失(△)	△155	△124
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△158	△125

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△155	△124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	37
為替換算調整勘定	44	58
退職給付に係る調整額	1	8
その他の包括利益合計	45	104
四半期包括利益	△109	△19
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△112	△20
非支配株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったエステールカンボジアCO., LTD.の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年5月12日 取締役会	普通株式	286	27円00銭	2021年3月31日	2021年6月14日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年5月31日 取締役会	普通株式	286	27円00銭	2022年3月31日	2022年6月14日	利益剰余金